

クリのせん定について

【せん定の基本】

- 枝には、ずっと使う『骨格枝』と、果実を結実させる『結果枝』があります。骨格枝を明確にして、結果枝を更新するのがせん定のポイントです。結果枝を長い間使うと結果枝が骨格枝より太くなり、骨格枝と結果枝の区別がつかず、せん定が難しくなります。
 - せん定は、枝の根元から切る『間引きせん定』と、前年新梢の途中から切る『切り返しせん定』があります。
- ※クリは新梢先端の芽から3～4芽に結実するので、なるべく切り返しはしないようにしましょう。

【せん定の手順】

- ①全体を広くみて骨格枝（主枝、亜主枝）をイメージし、骨格枝と競合する骨格枝化した結果枝を数本間引きます。枝が混んでいる所は、骨格枝化した結果枝があることが多くなります。
 - ②主枝の先端から始め、先端と競合する枝を除きます。以後、先端から見て鋭角三角形をイメージして配置することで、主枝、亜主枝の勢いの順位を守ります。主枝>亜主枝>側枝。
 - ③側枝は2～3年目で更新が基本です。先追いをしないこと。クリは側枝が太くなりやすく、基部が太くなった側枝は主枝・亜主枝を負かすので更新しましょう。上面から発生した枝は徒長し、主枝、亜主枝と競合し樹形を乱す原因となるため取り除きます。
 - ④結果母枝（昨年の結果枝）から30cm～50cm程度の結果枝が発生し結果するため、重なり合わないよう**50cm～60cm間隔で設置します。6～7結果母枝/m²。**
- ◎クリは、暗がりの原因となる側枝を取り除き、主枝、亜主枝に日が当たれば陰芽が動き結果として良果生産、増収が望めます。
 - ◎せん定が不十分だと弱い母枝（細かい枝）、が多くなります。弱い母枝が多いとクリタマバチによる被害が多くなるので間引きせん定を行い、弱い母枝（細かい枝）を少なくしましょう。

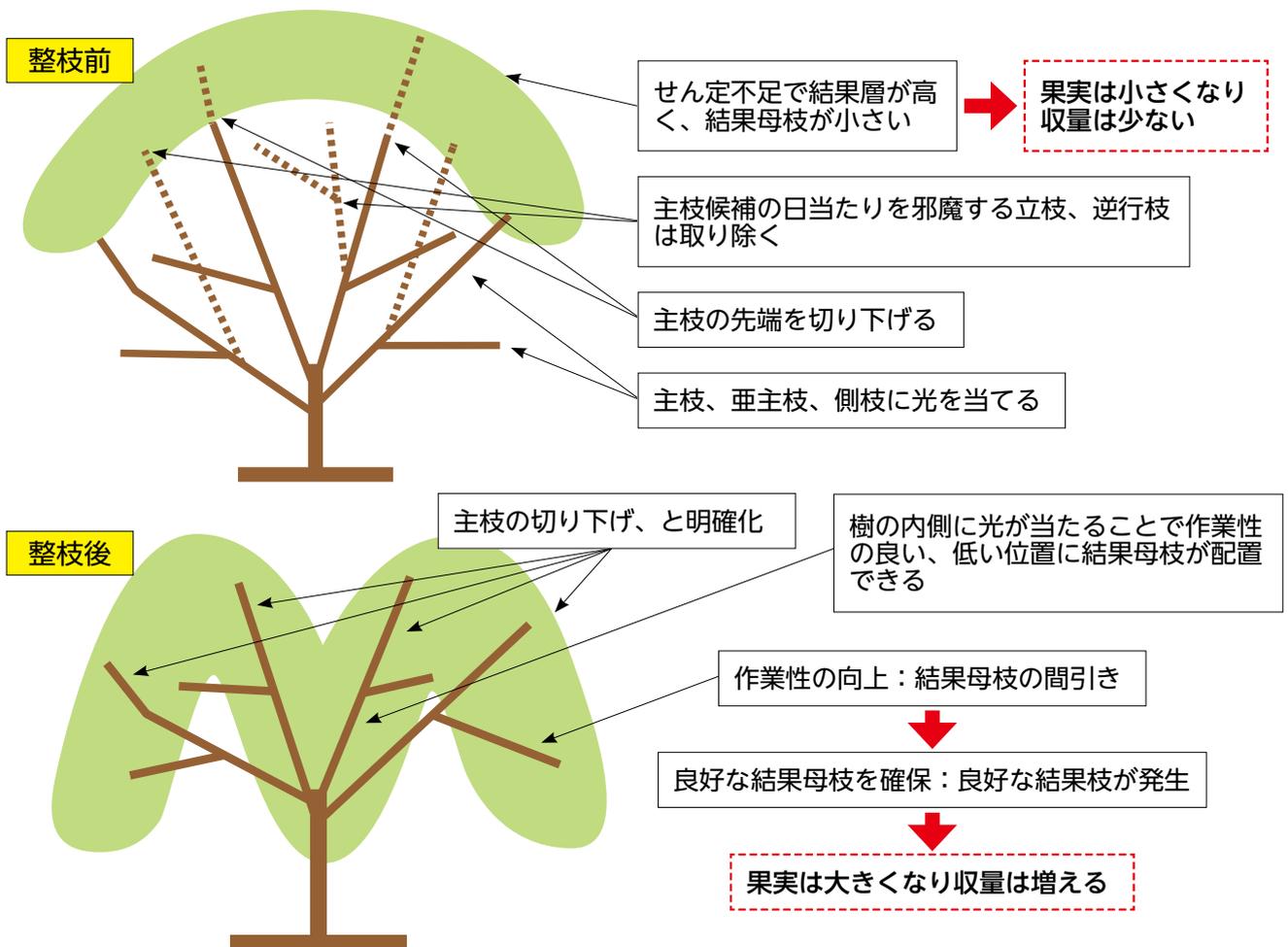


図 クリの整枝

昨年の夏に募集した第49回『ごはん・お米とわたし』図画コンクール、第63回『JA共済神奈川県小・中・高校生書道コンクール』の受賞者がこのほど発表されました。図画は県内小学校から436点（JA管内100点）、書道は小・中学校、高校から3,783点（JA管内481点）の応募がありました。審査員の心を打つ素晴らしい作品が勢ぞろい。そこで今月号は、上位入賞者の作品を紹介します。

図画コンクール



小学生
1部

神奈川県環境農政局長賞

『海でおにぎり』

開成町立開成南小学校 2年
鋒之原 康太さん



夏休み、弟と海で仲良くおにぎりを食べた様子を描きました。青い服を着ているほうが僕です。梅干しや枝豆など色々な具材のおにぎりをいっぱい描きました。僕は『のりたま』のおにぎりが好きです。

小学生
1部

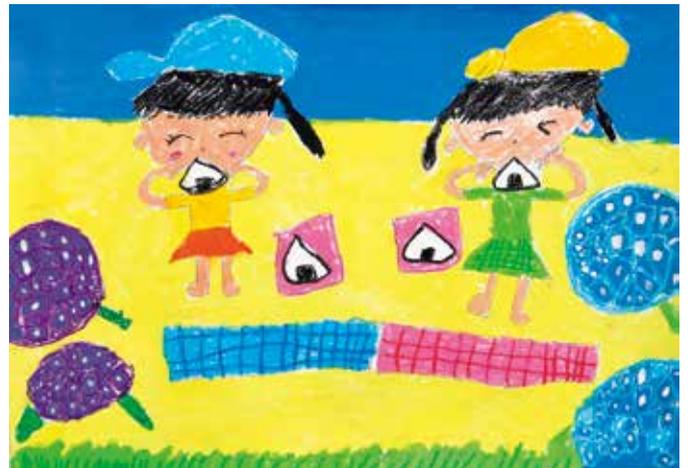
神奈川県農業会議会長賞

『あじさいまつりで、 ともだちとおにぎり食べたよ』

開成町立開成南小学校 2年
佐藤 媛さん



あじさいまつりに行って、友達とおにぎりを食べました。私のおにぎりの中身はシャケです。工夫して描いたところは、あじさいの花です。青や紫と色を分けながら、一つひとつ丁寧に描きました。



小学生
1部

神奈川県信連理事長賞

『なかよくモグモグ』

開成町立開成南小学校 2年
枇杷 杏樹さん



ご飯が好きですが、ハンバーグも好きです。家族でおいしいハンバーグを食べた様子を描きました。背景は、黄色とオレンジ色の絵の具を指につけてペタペタとぬり、楽しい様子が伝わるようにしました。



特集 図画・書道コンクール 受賞おめでとう



小学生 1部 全農神奈川県本部長賞

『一ぱいでたりるかなあ』

開成町立開成南小学校 1年
山崎 葵太さん



餃子には真っ白なご飯！山盛りの餃子と山盛りのご飯を描きました。いつも家族で食べる時、お母さんが50個焼いてくれます。餃子のヒダと焼き色を工夫して美味しさが伝わるようにしました。

小学生 1部 神奈川県厚生連理事長賞

『おにぎりおいしいな』

中井町立中村小学校 1年
村山 志帆さん



お兄ちゃんと私とママが仲良くピクニックでおにぎりを食べているところを描きました。真ん中が私です。食べているおにぎりの中身はツナマヨで、楽しさが伝わるよう、ニコニコ笑顔を頑張って描きました。



書道コンクール

高校生の部 tvk賞

神奈川県立小田原城北工業高等学校 3年
山本 怜奈さん

今年で最後の書道コンクールなので「賞をとるぞ！」と意気込んで書きました。賞をいただけてとてもうれしいです。初めて仮名交じりの書に挑戦しましたが、漢字は強調し、平仮名は小さく書くなど流れとリズムを意識しました。



幽懐竹を字は雲硯に生じ高
興蘭を画けば香篆に満つ
三年 山本 怜奈

体験で郷土を学ぶ

〈組合員 知ったく講座開催〉

地域農業と地産地消への理解を……。12月7日に第1回組合員知ったく講座『親子で自然をまるごと体験』を(株)国際農業開発の協力のもと、南足柄市怒田地区でミカン狩りや餅つきなどを開催し、組合員ら親子20人が参加しました。ミカン狩りでは黒柳俊之社長が「ミカン『大津』は湯河原町の大津さんが品種改良したもの」と説明。参加者は「大津ミカンは知っているが地元生まれだとは知らなかった」と驚いていました。昼食はお餅に舌鼓。地産地消を学ぶ1日になりました。

第2回組合員知ったく講座『しめ飾りづくり』は12月21日に本店で開催。小田原市栢山の小澤信一さんを講師に招き、組合員20人が参加して正月しめ飾りを作りました。手作りのしめ飾りに参加者は「来年も良い年になりますように」と願いを込めて作りしました。

※この活動はJA共済の支援を受けています。



お餅つきは家族みんなで



みんな上手にできました

おイモ掘れたよ!!

〈下府中学給部会が園児に食農教育〉

下府中野菜研究会学給部会は12月16日、下府中保育園の園児たちに『食』と『農』の大切さを学んでもらおうと小田原市中里にある約10アールの畑でジャガイモの収穫体験を開きました。

三津木國昌会長が「傷つけないよう優しく掘ってください」と説明すると、園児たちは会員の助けを受けながら、次々と収穫していききました。

ジャガイモは園でカレーやポテトサラダなどの給食に使用される予定で、園児は「早く食べたー!」と目を輝かせていました。

三津木会長は「子どもの笑顔は宝物。今後も交流を続け、農の大切さを学んでもらいたい」と話しています。



会員とジャガイモを収穫する園児たち

味噌づくりを伝承

〈山北町の細谷さんが指導〉

地産地消の発信拠点に……。神奈川県ふるさと生活技術指導士の細谷康子さんは味噌づくりを地域の人に伝承しています。12月16日には山北町清水地区にある『ふれあいセンター』で地域の人たち6人と行いました。「味噌は生きている。手間暇かけて作るからこそ、おいしくできる」と細谷さん。手作りは味がまるやかでみそ汁はもちろんでんや大葉みそ、味噌漬けなどいろんな料理に活用できる万能調味料。細谷さんは「これからも地産地消の発信拠点として活動していきたい」と話していました。



手際よく仕込み作業する細谷さん⑥

給食メニューのコンテスト

吉浜小が県教育委員会教育長賞を受賞

湯河原町立吉浜小学校が『かながわ学校給食夢コンテスト』の令和6年度『学校の献立』の部において、神奈川県教育委員会教育長賞を受賞しました。献立のメインは地元農家から市場流通が難しいミカンの提供を受け、果汁を肉の下味やタレに使った『てりやきチキン』。このメニューは食品ロスを学んだ6年生が、湯河原みかんを研究する大学生と協力して考案したレシピをもとに作りました。昨年度に続き2年連続の受賞で津田清校長は「農家をはじめ地域の方々、児童、教職員や栄養士、調理員、給食に携わる皆の連携が実を結んだ」と喜びを語りました。



受賞を喜ぶ津田校長と木村美樹栄養士



左から時計回りにひじきご飯、てりやきチキン、牛乳、すいとん

コキアのほうきを作る

きんじろう農園栽培の思い出に

きんじろう農園では昨年の7月からコキアを栽培し、11月には赤く紅葉したコキアを楽しみました。12月21日にはそのコキアを使ったほうきづくりを行い、准組合員ら20人が参加しました。まずはみんなでコキアを収穫。集めたコキアから小さなほうきや大きなほうきなど自分好みの逸品を作っていました。参加者は「苗から育てたコキアで作るほうきは格別！小さいものはインテリアとして、大きいものは掃除用のほうきとして活用していきたい」とご満悦な様子。モノづくりの楽しさを体験しました。



※この活動はJA共済の支援を受けています。

竹ぼうきにも挑戦

投稿原稿に思いを込めて

久野支店の川口さん、農業新聞『女の階段』などに掲載



記事が掲載され喜ぶ川口さん

久野支店管内の川口喜美子さんは昨年、日本農業新聞の読者投稿欄『女の階段』に初投稿してから『こだま』や川柳などのコーナーにも投稿し、現在まで合わせて7回掲載されています。投稿のきっかけは、さまざまな読者の思いに触れるうちに自分も日々感じたことなどを書いてみようと思ったことがきっかけです。文を書くのは苦手でしたが、よくラジオへ投稿している娘にコツを教わり原稿を書いていきます。支店には管内の組合員が掲載されたら紹介するスペースを設け、川口さんの記事も飾ってあります。「コーナーによってはプレゼントがもらえるものもあるので、皆さんも投稿してみてください」と川口さんはPRしています。

※投稿はハガキだけではなく、メールでも受け付けています



インフォメーション



農業機械利用事業講習会

J Aの農業機械利用事業を利用するための講習会を開催します。
新たに利用する方は必ず受講してください。

日 時：令和7年3月8日（土）8：30～12：00
場 所：J Aかながわ西湘 成田総合選果場（小田原市成田802-1）
対 象：当J Aの正組合員及びその家族
内 容：9種類の農業機械の取り扱い方法
（せん定チッパーやトラクターなど）

受講料：無料
申込方法：令和7年2月14日（金）までに支店または営農経済センターにお申込みください



銃器によるカラス・ヒヨドリの駆除を行います

農作物に被害を及ぼす鳥類（カラス・ヒヨドリ等）を猟友会が銃器で駆除します。駆除に対するご理解と事故防止にご協力をお願いします。

駆除期間：令和7年2月8日（土）～3月9日（日）
小田原市全域（山間部が対象）
令和7年3月1日（土）～2日（日）
南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町



令和6年度 地域農業応援プログラムの申請はお早目に

令和6年度『地域農業応援プログラム』の各種助成の申請は令和7年2月28日（金）です。
期日までの提出をお願いします。

※病害虫駆除対策及びニンニク種子購入助成は令和7年2月17日（月）まで

必要書類：申請書、農業形態がわかる書類、助成対象物の名称が記された領収書の写し、助成金等の受領書、入金通知書等の写し（補助金等の交付を受けている場合）

- ※添付書類の領収書や農家形態がわかる書類等の宛名が生計を一にしている方であれば対象となります
- ・申請書は各営農経済センター・中井支店・山北支店にご用意しています
- ・期日を過ぎますと助成ができませんのでご注意ください

詳しくは各営農経済センターまたは中井支店・山北支店



開成営農経済センター 即売会

販売品：肥料、農薬、生産資材の販売など
※当日販売できる肥料は数に限りがあります

雨天決行

開催日：令和7年2月11日（火）祝日
時 間：8：40～12：00
場 所：開成営農経済センター（開成町吉田島2000）

お問合せ：開成営農経済センター ☎ 0465(83)5165



J A かながわ西湘は2025年国際協同組合同年
（またはIYC2025）に賛同しています



本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL:0465(47)8125

- かながわ西湘 2月号 (vol.221) 令和7年1月20日 (毎月20日発行)
- 発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/宇留間優
- 編集/組織企画部組織広報課

J A かながわ西湘ホームページ ▶ <https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

